

人権と平和展

福島市平和事業
キャッチフレーズ

僕らの子供に 戦争ってなあに？ って聞かれない

福島市に投下された 模擬原爆の破片展示 (瑞龍寺蔵)



80年前、原爆投下の訓練のため福島市に
模擬原子爆弾が落とされ

1人の尊い命が犠牲となりました。

※人権と平和展では爆弾の破片に実際に触れることができます。

戦後80年記念 特別企画

『記憶の継承』ヒロシマ、ナガサキ“あの日”から80年

- 原爆投下前後の広島市街地の
様子を疑似体験できるVRゴーグル



- 被爆体験証言者と広島市の高校生の
共同制作「原爆の絵」の展示



「新天地の惨状」 作:神垣優香
所蔵:広島平和記念資料館

令和7年度 男女共同参画メッセージ 中学生平和メッセージ 作品展

令和6年度最優秀作品



小学生の部



イラスト部門

私が私らしく
輝いていられるように
私がやりたい仕事をやり
私がやりたい目標になる
自分らしさを残さず
私はやりたい事に内定で進む

高校生・一般の部(メッセージ部門)

私は 戦争をしなく
ても生きていける

メッセージ部門

27
(日)
14:30
▼
15:30

平和講演会【要申込】

- 1部 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 家族証言者 三根 礼華さん
「長崎市で被爆した祖母の被爆体験や思い」
- 2部 渡利地区歴史研究会 齋藤 英さん
「渡利に模擬原爆投下・水田に大穴」

講演会の
申し込みは
こちら



展示内容の
詳細は
市HPへ



令和7年

7/25(金) ▶ 29(火) 9:30~19:00 入場無料

会場



アオウゼ(MAXふくしま4階)

駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
開催内容の詳細は裏面をご覧ください。



主催/福島市 共催/福島市教育委員会、福島・相馬地域人権啓発活動ネットワーク協議会

後援/広島市、長崎市、NHK福島放送局、福島民報社、福島民友新聞社、朝日新聞福島総局、毎日新聞福島支局、読売新聞東京本社福島支局、日本経済新聞福島支局、産経新聞福島支局、河北新報社、時事通信社福島支局、共同通信社福島支局、ラジオ福島、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、福島コミュニティ放送FMボコ、ふくしまFM

問い合わせ

福島市役所 総務課

TEL 024-525-3701

男女共同参画センター

TEL 024-525-3784

開催内容のご案内

人権コーナー

●令和7年度男女共同参画についての 「あなたからのメッセージ」作品展

小学生以上の方からご応募いただいた全ての作品を展示します。

●人権に関する紹介コーナー

- ・人権擁護委員の活動紹介
- ・人権作文コンテスト作品紹介
- ・人権パネル展

●ふくしま市女性団体連絡協議会 紹介コーナー

●万華鏡づくり

●ボッチャ体験コーナー

●人権かみしばい 7月26日(土)～27日(日) 10:00～15:00

平和コーナー

●令和7年度はがきに綴る 「中学生平和へのメッセージ」作品展

中学生を対象に募集した平和に関するメッセージの全ての作品を展示します。

●核兵器と戦争に関する16の問い展

16の問いかけを通して、臨場感をもって核兵器のことを一緒に考えてもらえる内容のパネルを展示します。

●原爆の熱線で溶けた瓦と 広島型原爆(リトルボーイ)の実物大ポスター

●平和首長会議原爆ポスター展

福島市が加盟している平和首長会議が作成した、広島・長崎の原爆被害の実相等に関してわかりやすく説明したポスターを展示します。

●青い目の人形展 ～日本とアメリカをむすんだやさしい大使たち～

戦後の今も平和の大切さを訴えかけている日米友好の証の「青い目の人形」を展示します。

●広島・長崎に届けよう! 折り鶴コーナー

●北方領土パネル展

人権や平和に関するクロスワードに挑戦して、景品をゲットしよう!

人権相談

7/26(土)・27(日)
10:00～15:00 別室を
ご案内します

※秘密は守られますので、お気軽にご相談ください。

人権擁護委員が相談に応じます。
DVや男女差別、家族間の問題など相談内容は問いません。

8月6日・9日は広島・長崎に原爆が投下された日です

1分間の黙とうを

昭和20年(1945年)8月6日に広島市、3日後の8月9日には長崎市に原子爆弾が投下され、多くの人々が犠牲となりました。原爆で亡くなられた方のご冥福と世界恒久平和の実現を祈り、原爆が投下された時間に1分間の黙とうをお願いいたします。

- ◎広島市に原爆が投下された時間……8月6日 午前8時15分
- ◎長崎市に原爆が投下された時間……8月9日 午前11時2分

福島市は 平和に関する宣言をしています

平和宣言 昭和48年3月22日議決

われわれは、世界の恒久平和を実現するため、世界連邦建設の趣旨に賛同し、全世界の人々と相携えて人類永遠の平和確立に努力することを宣言する。

核兵器廃絶平和都市宣言 昭和60年12月26日議決 昭和61年2月1日宣言

世界の恒久平和と安全は、人類共通の願望である。

しかるに、世界における「核」は、今や平和利用の域をはるかに越えて、核軍備拡大競争はとどまることなく、世界平和に深刻な脅威をもたらしている。

我が国は、世界唯一の核兵器による被爆国として、人類生存の危機をも招く核兵器の脅威と今なお続く被爆者の苦しみを全世界に訴え、この人類社会においてかかる惨禍を再び繰り返させてはならない。

よって、私たちは、日本国憲法の平和主義の精神に基づき、「非核三原則」を堅持していくことを強く希求し、我が福島市域においては、いかなる国のいかなる核兵器も配備貯蔵することはもとより、飛来・通過することを拒み、核兵器の廃絶・軍備縮小と世界の恒久平和の実現を願う「核兵器廃絶平和都市」であることをここに宣言する。

